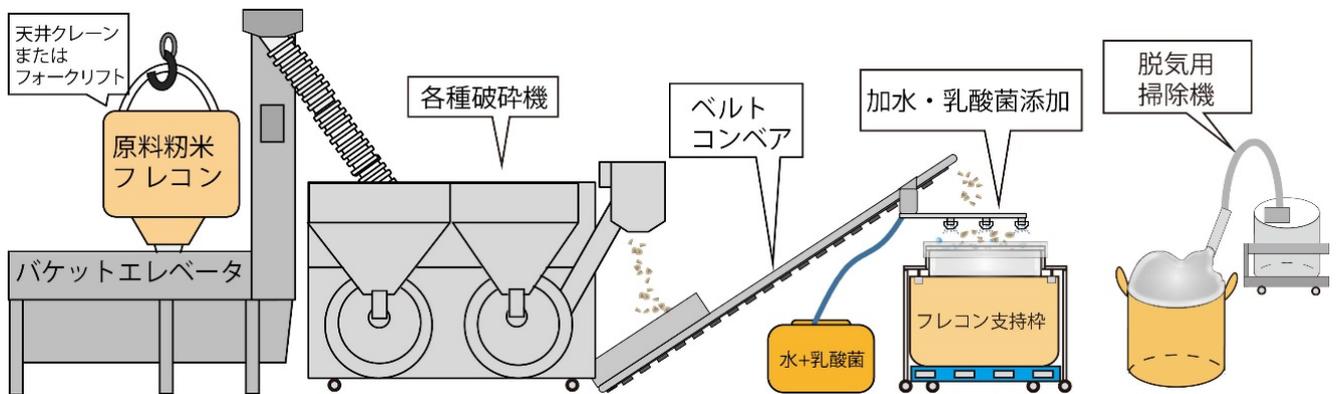


### 3. 畜産・飼料作関係の技術情報

## 乾燥調製が不要な 粃米サイレージ調製技術

1. 平成28年熊本地震により、多数の農業施設で被害が生じました。本資料では、米麦共同乾燥施設が被災し、飼料用米の乾燥調製ができない場合、飼料用米をサイレージ調製することで最長1年間貯蔵できる技術を紹介します。
2. 図のように、破碎、乳酸菌添加、加水（目標水分含量30%）の3処理を組み合わせることで、長期間、安定した良質なサイレージに調製可能です。
3. 破碎処理には飼料用米専用破碎機の外に、ライスセンター等にある粃殻処理装置（プレスパンダー）を利用することが出来ます。
4. ポリエチレン製の内袋を入れたフレコンバッグを用いることで、フォークリフトや天井クレーンで取り扱いでき、トラックを用いた地域内流通が可能となります。



飼料用米破碎機を用いた場合の粃米サイレージ調製体系の構成例

#### 参考文献

1) 浦川ら (2015) 既存の穀物用施設を活用した粃米サイレージ調製技術マニュアル:

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/publication/pamphlet/tech-pamph/058181.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/058181.html)

問い合わせ先: 農研機構 畜産研究部門 029-838-8249